

加東市まちづくり活動費補助金を活用した

まちづくり活動成果集

〔令和4年度〕



加東市マスコット 加東伝の助

加東市 市民協働部 人権協働課

はじめに

少子高齢化や人口減少社会の進行、ライフスタイルや価値観の多様化、地域コミュニティの希薄化など、地域社会を取り巻く環境が変化する中、まちづくりには、行政だけでなく市民や地域、団体、事業者など多様な主体との『協働』が不可欠となっています。

また、将来にわたって活力のあふれるまちにしていくためには、まちづくりの主役となる「人」が、ふるさと加東への愛着や誇りとともに、夢や希望をもって、それぞれの個性を活かしながら活躍し、地域と共に元気であり続けることが重要です。

加東市では、市民の皆さまが取り組まれるまちづくり活動に対して「まちづくり活動費補助金」を交付し、その活動を支援しています。この冊子は、令和4年度にこの補助金を活用された団体の活動をまとめたものです。ふるさと加東への思いや取組、その活動を通して見えてくる課題などから、協働のまちづくりの大切さを認識していただき、市民や地域、団体、行政などのそれぞれの役割について考えるきっかけにいただければ幸いです。

目 次

【テーマ解決コース】

・地域の活性化推進研究会	1
・加東市に人を呼び込み隊	2
・なないろ	4
・社高等学校生活科学科観光班	6
・社高等学校生活科学科特産品班	8
・ひょうごSDGsネットワーク	10

(参考) 令和4年度加東市まちづくり活動費補助金(応募活動分)募集要領	12
-------------------------------------	----

団体名	地域の活性化推進研究会
代表者氏名	長谷川 妙子
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 加東の新しい観光「フットパスツーリズム」を楽しむ</p> <p><u>1. 内容</u> 加東市では「フットパス」による観光地めぐりなど、新たな取り組みが行われており、この加東の新しい観光「フットパスツーリズム」とSDGsをテーマに、加東市にお越しいただく日帰り観光ツアーを開催しました。</p> <p><u>2. 目的</u> ツアー参加者の方々に加東市の魅力（観る、食べる、学ぶ、遊ぶ、買う）を伝えることで、人口の維持、交流人口の増加、加東市の知名度アップを図りました。</p> <p><u>3. 場所</u> 三草藩武家屋敷、旧三草街道（京街道）、パナソニックエコテクノロジーセンター、国宝「朝光寺」、道の駅とうじょうなど</p> <p><u>4. 期間</u> 令和4年11月29日（火） 令和4年12月13日（火） 令和4年12月16日（金）</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 92人</p> 
活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> ツアー参加者の皆さんに加東市の魅力をお伝えし、加東市のファンを増やすことができている。また、このツアーへの参加募集については、新聞の広告記事を使い、多くの読者の皆さんに見ていただくことで、ツアー参加者以外の多くの方々にも加東市の魅力をPRできました。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定（活動の展開やメンバー、活動資金についてなど）</u> フットパスと同時に楽しむことができる体験観光や食の工夫が必要と感じています。また、フットパスとAR周遊を個人旅行、グループ旅行のメニューとして広めて行けるようなPRを行いたいと考えています。 今後もメンバーとともに新たな集客のアイデアを考えていきます。</p>

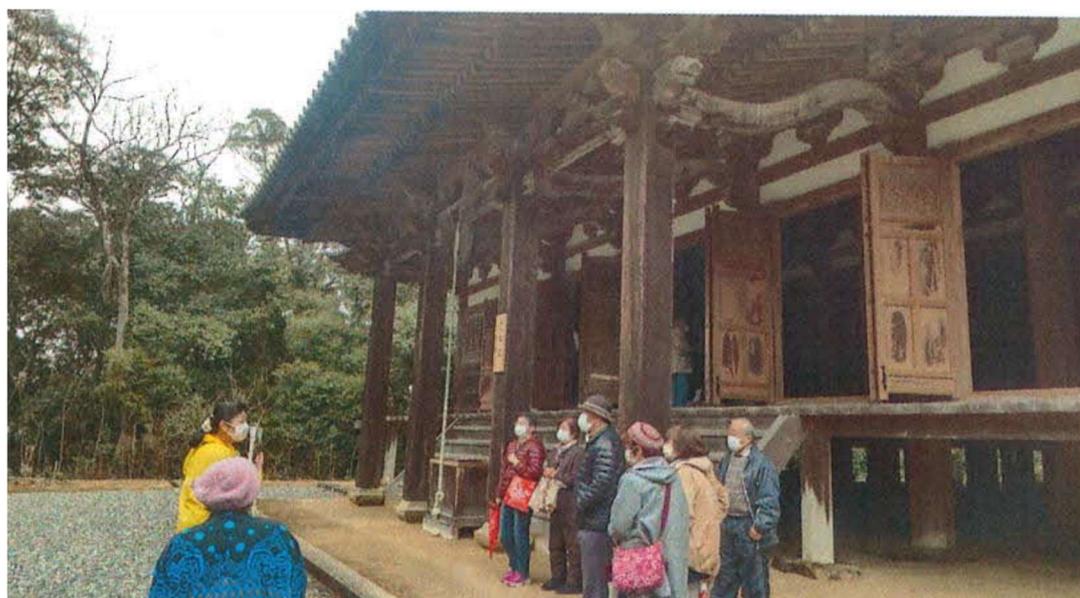
団体名	加東市に人を呼び込み隊	
代表者氏名	松本 弓子	
活動 内 容	活動テーマ・行事名 イベントとツーリズムのコラボレーション実証実験	
	1. 内 容 加東市文化振興財団等が開催を予定しているイベントと市内観光をテーマとした講演会、モニターツアーを実施しました。	
	2. 目 的 市内で開催されるイベントのうち、広く市外からも集客が見込めるものについて、イベントに参加することに加え、市内の観光地を巡り、お食事やお買い物を楽しんでいただくツーリズムを企画し、交流人口の増、加東市の知名度アップを図りました。	
	3. 場 所 ①【大衆演劇】下町かぶき組 劇団三峰組 特別講演ツアー 加東市地域交流センター、アート館、滝寺荘、鬨竜灘 ②「山田錦」のふるさと加東市特別講演「酔っ払いたちの700年」 やしろ国際学習塾、神結酒造(株)、道の駅とうじょう ③神結酒造(株) 蔵まつり 滝寺荘、朝光寺、神結酒造(株)	
	4. 期 間 令和4年7月1日(金) ～ 令和5年2月24日(金)	
5. 参加者数(来場者数) ①【大衆演劇】下町かぶき組 劇団三峰組 特別講演ツアー 令和4年8月27日(土) 参加者数：76名 ②「山田錦」のふるさと加東市特別講演 「酔っ払いたちの700年」 令和4年9月24日(土) 参加者数：34名 ③神結酒造(株) 蔵まつり 令和5年2月18日(土) 参加者数：56名		
		
		

1. 活動により生まれた効果

このツーリズムを実施することにより、加東市で開催されるイベントに加え、市内の観光地を巡り、お食事やお買い物を楽しんでいただくことができました。また、近隣市町や京阪神など広く参加者を募ることで、交流人口の増、加東市の知名度アップを図ることができました。

2. 今後の取り組み予定（活動の展開やメンバー、活動資金についてなど）

加東市で開催される様々なイベントに合わせたツーリズムの企画を継続し、実施していきます。



活動の
効果・
今後の
取り組み

団体名	なないろ
代表者氏名	黒崎 みどり

活動テーマ・行事名
若い世代へのジェンダー平等の啓発

1. 内容

- ①ジェンダー平等についての冊子作成
- ②高校生アンケート結果のパネル展示
- ③イベント開催のノウハウを学ぶ講座開催



2. 目的

マンガ形式の啓発冊子を作成し、学校などに配布することにより、若年層にジェンダーについての理解を深めていただきました。また、高校生アンケート結果をパネル展示することにより、今の若年層のジェンダーに関する意識について、親も子どもの考えを見ることができ、親子のジェンダーに関する興味関心の向上を図りました。

3. 場所

- 活動内容
- ①冊子配布：市内中学3年生、高校生、その他
 - ②ショッピングセンターBio2階 多目的ホール
 - ③社公民館2階 研修室

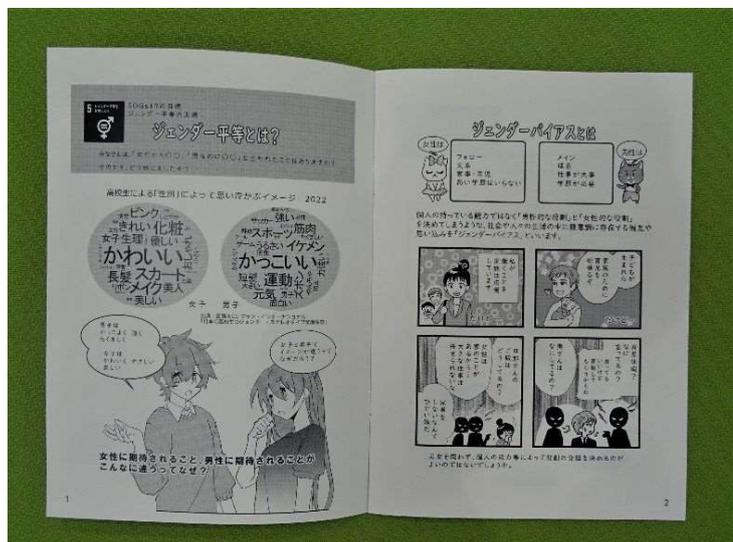


4. 期間

- 内容
- ①冊子作成 作成：令和4年7月～令和5年3月
配布：令和5年4月
 - ②展示 令和5年3月3日(金)～3月9日(木)
 - ③講座 令和5年1月7日(土)

5. 参加者数（来場者数）

- ①冊子作成 1,500部
- ②展示 不明
- ③講座 12人



1. 活動により生まれた効果

パネル展示や冊子作成を行い、高校生にジェンダーに関するアンケートをとることによって、今の若者がジェンダーに対してどのような考えを持っているか、あらためて考えることができました。さらに、打合せなどで闊達な意見を出し合い、メンバー自体もジェンダーの知識が蓄積されました。「人権と協働を考える市民のつどい」に参加、発表することで、ジェンダーについての知識を広く伝えることもできました。

この活動により、まわりの方が今まで関心の無かったジェンダーについて「それ何？」と興味を持っていただけるようになりました。

また、イベント開催のノウハウを学ぶ講座は、今後の活動に生かせるものになりました。

2. 今後の取り組み予定（活動の展開やメンバー、活動資金についてなど）

引き続きジェンダー平等を啓発する活動を続けていきます。具体的な取組については今後検討していきますが、今年度に啓発冊子を作成したように、多くの方が「ジェンダー」について考えるきっかけとなる“モノ”をつくりたいと考えています。新たな製作物を活用して出前講座などが実施できれば、講師料収入にもつながるものと考えています。

また、市が実施する加東ウィメンズリーダー塾に参加して、メンバー増加にも努めます。



団体名	社高等学校生活科学科観光班
代表者氏名	若浦 直樹
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 観光資源を活用した地方創生</p>
	<p><u>1. 内容</u> 加東市の魅力発信のため、観光地や「食」を活用したバスツアーや新たな観光資源の開発に取り組みました。バスツアーは加東市観光協会やみなと銀行協力のもと、チラシやSNSなどを活用し、多くの家族連れに参加していただきました。</p>
	<p><u>2. 目的</u> 地域経済分析システムRESASを使用して加東市の現状分析を行い、交流人口増加に向け「食」を活用した地域活性化活動の模索を図りました。また、加東市内外の方を対象とした地域の名所を生かしたPR活動を行い、交流人口の増加と加東市の知名度アップを図りました。</p>
	<p><u>3. 場所</u> 県立社高等学校、やしろショッピングパークB i o、播磨中央公園、ホテルグリーンプラザ東条湖、大阪府立男女共同参画・青少年センター、流通科学大学、兵庫県立教育研修所、兵庫教育大学、山の芋農園、県立嬉野台生涯教育センター、鴨川の郷、播州清水寺、ふじいでんこう さいくるらんど、加東アート館、道の駅とうじょう</p>
	<p><u>4. 期間</u> 令和4年4月1日（金） ～ 令和5年3月31日（金）</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u></p> <p>① 4月18日（月） 20名 加東市役所を訪問し、今年度の活動内容に関する提案（観光資源を活用した地方創生に関する活動）を行い、アドバイスを頂きました。</p> <p>② 5月7日（土） 30名 もち麦サイクリングに参加しました。</p> <p>③ 6月4日（土） 50名 関東加東応援団総会に出席し、活動内容（①同様）の紹介を行いました。</p>



	<p>④ 9月15日（木） 10名 加東市総合計画「ひとづくり」「まちづくり」「くらしづくり」と「食」を関連付けた活動として、「第1回高校生食のSDGsアクションプラングランプリ」に応募しました。</p> <p>⑤ 9月30日（金） 40名 食と健康、観光を連携させたふるさと納税を活用した地域活性化活動として、「地方創生☆政策アイデアコンテスト2022」に応募しました。</p> <p>⑥ 11月12日（土） 400名 「第1回高校生食のSDGsアクションプラングランプリ」最終審査会に参加し、最優秀賞を受賞しました。</p> <p>⑦ 11月19日（土）～ 20日（日） 30名 「加東市の魅力知りつくしちゃえツアー」を実施しました。 観光場所：播州清水寺、加東アート館、ふじいでんこう さいくるらんどなど 体験活動：山の芋堀り、千燈会、もち麦藁のアップサイクルなど</p> <p>⑧ 12月8日（木） 100名 「地方創生☆政策アイデアコンテスト2022」近畿経済産業局長賞授賞式に出席しました。</p> <p>⑨ 1月21日（土） 200名 社高等学校課題研究および探究活動発表会にて地域連携事業発表（今年度の活動内容のまとめ）を行いました。</p> <p>⑩ 1月24日（火） 200名 社高等学校生活科学科課題研究発表会にて活動報告（今年度の活動内容のまとめ）を行いました。</p>
活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> 加東市観光協会や神戸新聞旅行社、みなと銀行協力のもと、今年度も1泊2日の体験型バスツアーを実施することができました。参加者からは「自然が多く、初めて知った観光地が多かった」、「今度はお父さんと一緒に家族で遊びに来たい」といった感想をいただきました。中には2年連続で参加された方もおり、多くの参加者から好評を得ることができました。 また、本ツアー内容を基に、新たに「健康面」に着目したプランを考案し、「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に応募し、近畿経済産業局長賞を受賞することができました。また、SDGsに着目したプランで応募した「第1回高校生食のSDGsアクションプラングランプリ」では最優秀賞を受賞することができました。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定（活動の展開やメンバー、活動資金についてなど）</u> 今後も観光ツアーをはじめ、「食」を中心とした魅力発信活動を実施していきます。また、バスツアーにつづく観光資源の開発を踏まえた企画・提案を行ってききましたが、今年度の実施には至っていないので、今後はバスツアー以外の観光資源開発も行い、交流人口の増加につなげていきたいと考えます。</p>

団体名	社高等学校生活科学科特産品班
代表者氏名	若浦 直樹
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 「食」と「健康」を活用した地方創生</p> <p><u>1. 内容</u> 加東市の魅力発信のため、もち麦をはじめとした市の特産品を活用した商品開発やPR活動に取り組みました。今年度は、もち麦の健康面に着目した活動をしたことで新たな普及活動を展開することができました。また、SNSを活用した情報発信や加古川ヤマトヤシキでの販売実習を行い、より多くの方に加東市の魅力的な特産品について知ってもらえる機会を作りました。</p> <p><u>2. 目的</u> 特産品のブランド力向上だけでなく、健康で幸せなまちづくりを目的とし、もち麦をはじめ加東市の特産品を活かした商品開発や、健康分野と連携した活動を展開することにより、地域活性化を図りました。</p> <p><u>3. 場所</u> 県立社高等学校、加東市内もち麦畑、加古川ヤマトヤシキ、加東市役所、ボンマルシェ社店、滝野公民館、やしろショッピングパークBio、兵庫県立教育研修所</p> <p><u>4. 期間</u> 令和4年4月1日（金） ～ 令和5年3月31日（金）</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u></p> <p>① 5月19日（木） 10名 もち麦狩りを体験しました。</p> <p>② 7月15日（金） 10名 SDGsと地元特産品を関連付けたレシピで、うまいもん甲子園に応募しましたが、予選突破には至りませんでした。</p> <p>③ 7月29日（金）・30日（土） 600名 加古川ヤマトヤシキにて、特産品を活用した商品の販売実習を行いました。</p>
	活動内容
 	

- ④ 8月7日(日) 200名
ボンマルシェ社店にて、
ねぎもちっとホットクの販売実習を行いました。
- ⑤ 8月28日(日) 30名
加東市チャレンジスクールにて、
もち麦うどん打ち体験の補助を行いました。
- ⑥ 11月9日(水)・16日(水) 40名
もち麦うどん打ち講習会を行いました。
- ⑦ 11月27日(日) 120名
もち麦スイーツコンテスト最終審査会に参加し、
準グランプリ、3位を受賞しました。
- ⑧ 12月18日(日) 500名
もち麦フェスにてもち麦ベーグルの販売実習、
もち麦うどん打ち体験の補助を行いました。
- ⑨ 1月24日(火) 200名
社高等学校生活科学科課題研究発表会にて
今年度の活動報告を行いました。
- ⑩ 4月～1月(通年) 60名
もち麦を活用した商品の試作
(ねぎもちっとホットク・ティグレ・ブッセ
・パウンドケーキ)を行いました。



活動の効果・今後の取り組み

1. 活動により生まれた効果

昨年度の活動の中で、「第10回ご当地！絶品うまいもん甲子園」の全国大会において、企業賞を受賞した「ねぎもちっとホットク」を地元企業と連携して商品化することができました。また、株式会社マルヤナギ小倉屋、ベーグルショップKome1と連携してもち麦ベーグル開発し、バスツアーで提供することができました。どちらの開発商品も加東市産のもち麦粉を使用したため、もち麦のさらなる周知につなげることができました。

他にも年間を通して、もち麦だけでなく山田錦の米粉など地元特産品を活用した商品開発を行ったことで、特産品のPRをすることができました。試食いただいた方からは、「おいしい」、「また食べてみたい」、「加東市内だけでなく多くの方に知ってもらえるような活動をしてほしい」という声が寄せられました。

2. 今後の取り組み予定(活動の展開やメンバー、活動資金についてなど)

今後も特産品を活用した地域活性化活動を実施していきます。今年度開発した「もち麦ベーグル」のさらなる周知と合わせ、新たな商品開発に挑戦したいと考えています。また、商品開発だけでなく、もち麦をはじめとした加東市の特産品をPRできる活動も展開していきます。

団体名	ひょうごSDGsネットワーク
代表者氏名	林山 祐子
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 野鳥観察で発見！加東の自然の豊かさと魅力</p>
	<p><u>1. 内 容</u> 自然や生きものの多様性に気づき、環境を守り・育てる行動を起こすきっかけとするとともに、豊かな自然環境を有する加東市への愛情を涵養します。加東市に四季折々に飛来する渡り鳥、状ヶ池公園の飼い鳥は貴重な観光資源です。野鳥観察の入り口としての役割を担う加東市として、市外へ魅力を発信し、市外から人を呼び込み、交流人口の増加と加東市の知名度アップを目指します。SDGsの15番の陸の豊かさを守ることは、私たち人間が生き続けるためにも必要なことです。この観察勉強会を通して加東市の自然の豊かさや守り続ける大切さを参加者に伝え、SDGs15番の目標達成に向けた日々の取り組みにつながるよう効果を期待しています。</p>
	<p><u>2. 目 的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野鳥観察を新しい観光資源とし、それを通し、生物多様性について学ぶとともに、加東市の魅力を発信しました。 ・加東市に興味を持ってもらい、関係人口増加を図りました。 ・青少年のすこやかな成長を応援するため、健全な親子関係を築くきっかけづくりを目指しました。 ・親子が参加することで子どもの視点と親の視点を一緒に学べ、親と子がふれあう機会を増やすきっかけづくりを目指しました。
	<p><u>3. 場 所</u> 第1回 社公民館 状ヶ池公園 第2回 県立やしろの森公園 第3回 やしろ鴨川の郷</p>
	<p><u>4. 期 間</u> 令和5年1月15日（日）、 令和5年2月19日（日）、 令和5年3月4日（土）</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 第1回 3人 スタッフ3人＋講師3人 第2回 14人 スタッフ3人＋講師3人 第3回 3人 スタッフ3人＋講師3人</p>



1. 活動により生まれた効果

加東市内外からの参加者は、加東市で多くの種類の野鳥が観察できるとは知らず、大変喜んでもらえました。また参加したいと参加者全員に思っていただけでよかったです。

2. 今後の取り組み予定

兵庫県／観光客動態調査（1年間に加東市内の観光地を訪れた観光客の動向がわかる）によると、令和3年度の総入込客数が2,760,000人、最も訪れた場所は播磨中央公園、目的別でみるとスポーツ・レクリエーションがダントツ1位です。1,635,000人、自然を求めてきた人たちはその半数以下77,000人。「山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく☆元気なまち加東」の山よしの部分の魅力が十分に伝わっていません。状ヶ池公園での“野鳥観察”は、世界にも発信できる取り組みで、次年度は加東市を広くアピールしていきたいと考えます。

また、野鳥はハードルが高かったようで、春や夏の虫の観察会に比べ、参加者を募ることが難しかったです。鳥に限定せず、草木や虫も増やし、多くの参加者が見込めるシリーズで行ってみようと思います。さらに、旧社町で定められていた町の鳥を復活させたいと思います。（旧社町では、メジロを町の鳥として定めていました。）

活動資金については、この補助金によって、とても良い講師陣にお願いすることができました。今後も活用していきたいと考えます。

活動の効果・今後の取り組み



令和4年度加東市まちづくり活動（応募活動分） 募集要領

1 目的

市民の皆さまが「自ら考え、行う」活動を支援することにより、より良い活動の創出を促し、地域の活性化、市民と行政の協働のまちづくりに寄与することを目的とします。

2 補助メニュー

次の3コースから1コース選択し、応募してください。（応募できるのは、1コースのみです。）

コース	一般コース	スタート応援 コース	テーマ解決コース
対象活動	市内で行う、市の歴史や自然、産業、文化等の啓発、伝承を促進する活動または地域コミュニティの推進に関する活動で、地域の活性化が図られる広域的なものを対象とします。		市が定めたテーマに基づいて行う活動のうち地域の活性化が図られる広域的なものを対象とします。
補助率	対象経費の60%	対象経費の100% (3年目は80%)	対象経費の100%
補助上限額 (予算の範囲内)	200,000円		300,000円
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ○活動は、令和4年度中（令和5年3月末まで）に完了するものとします。 ○慣例的な活動や団体の内部にとどまる活動などは対象外とします。 ○営利目的、反社会的、政治または宗教を普及する活動は対象外とします。 ○国・県・市などから補助を受ける活動は対象外とします。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○同一団体による同一内容の活動は、連続した2年間までとします。 ※ただし、学校（小・中・高等学校等）を単位とする団体については、構成員（生徒）が毎年異なると考えられるため、同一団体とはみなしません。 	<ul style="list-style-type: none"> ○採択された活動は、連続した3年間補助します。 ※2年目以降も審査があります。3年目は、補助金額を対象経費の80%とします。 ○1年目は単一自治会内での活動を認めますが、2年目以降は範囲を自治会外までの拡大を条件とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○同一団体による同一内容の活動は、連続した2年間までとします。 ※ただし、学校（小・中・高等学校等）を単位とする団体については、構成員（生徒）が毎年異なると考えられるため、同一団体とはみなしません。

3 対象団体

市内に活動拠点をもつ団体で、その代表者と構成員の半数以上が加東市民であるものを対象としま

す。ただし、スタート応援コースは、設立後3年以内の団体に限ります。

テーマ解決コースで定めるテーマ

テーマ解決コースは、以下に示す①から③のテーマについて、現状と目指す状態・将来像を踏まえて行う活動を対象とします。

①人口の維持・増加または交流人口の増加・加東市の知名度アップにつながる活動

【現状】

加東市においても、将来は人口減少・少子化が予想され、その対策が必要になっています。また、市内には、地域の名所や歴史的な遺産、貴重な観光資源などが数多くあり、それらを有効活用するためには、さらなる魅力発信やPRを行う必要があります。

【目指す状態・将来像】

市外からの定住・移住を促す取組を通して、人口の維持・増加を目指します。また、市内の名所や歴史遺産、観光資源などを有効活用することで、市外から人を呼び込み、交流人口の増加と加東市の知名度アップを目指します。

【活動例】

- ・市外の方を対象とした市民農園体験や就農体験
- ・加東市の歴史・名所などの魅力を紹介するツアーの実施 など

②男女共同参画や女性活躍の推進につながる活動

【現状】

少子高齢化の進展や人口減少が進む中で、社会の多様性と活力を高めるために、男女共同参画社会の実現が課題になっています。

【目指す状態・将来像】

男女共同参画を推進することで、性別に関係なく誰もがその個性と能力を発揮できる、豊かで活力ある社会の実現を図ります。

【活動例】

- ・女性の起業支援など女性活躍を推進する事業
- ・男性料理教室など男性の家事参加の促進を目的とした事業 など

③国際交流や多文化共生の実現につながる活動

【現状】

在住外国人が増加していることから、市民や地域の共生意識の高揚を図るとともに日常生活などをサポートする多文化共生社会づくりのより一層の推進が求められています。

【目指す状態・将来像】

在住外国人への日本語教育支援や生活情報の提供などの生活支援を通して社会参加を促進することで、市民や地域の共生意識を醸成し、多文化共生社会の構築を図ります。

【活動例】

- ・在住外国人やその子どもを対象とした日本語教室
- ・外国語に対応した加東市に関するガイドブックや観光マップなどの作成 など

4 補助対象経費

<補助対象となる支出>	<補助対象とならない支出>
(1) 会議費（打合せ会等） (2) 会場使用料 (3) 消耗品費（用紙代、文房具代） (4) 印刷製本費（チラシの作成・印刷等） (5) 食糧費 ※上限あり (6) 材料費（調理を行う際の食材等） (7) 賞品代 ※上限あり (8) 備品代 ※上限あり (9) 謝礼（講師、出演者に対するもの） (10) その他必要な経費	(1) 土地や建物（完成品）の購入費 (2) 酒類の代金 (3) スタッフへの手当てなど、報酬として支出するもの

※経費が対象となるかどうか迷う場合は、市民協働部人権協働課までお問い合わせください。

○上限について

- (5) 食糧費 補助対象経費の3分の1以下（単価850円まで）
- (7) 賞品代 補助対象経費の2分の1以下（単価300円まで）
- (8) 備品代 上限20,000円（ただし、スタート応援コースは上限50,000円とします。）
- (10) その他 委託費は、補助対象経費の2分の1以下とします。